

道の駅の例

全国モデル「道の駅」(H26 選定 6 箇所)

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの

- ・ 既存の「道の駅」を対象に、国土交通大臣が選定
- ・ 観光、産業、福祉、防災等、地域資源の活用や地域の課題解決を図るための地域のゲートウェイや地域センターとして機能
- ・ 設置から一定年数(10年以上)、継続的に地域に貢献

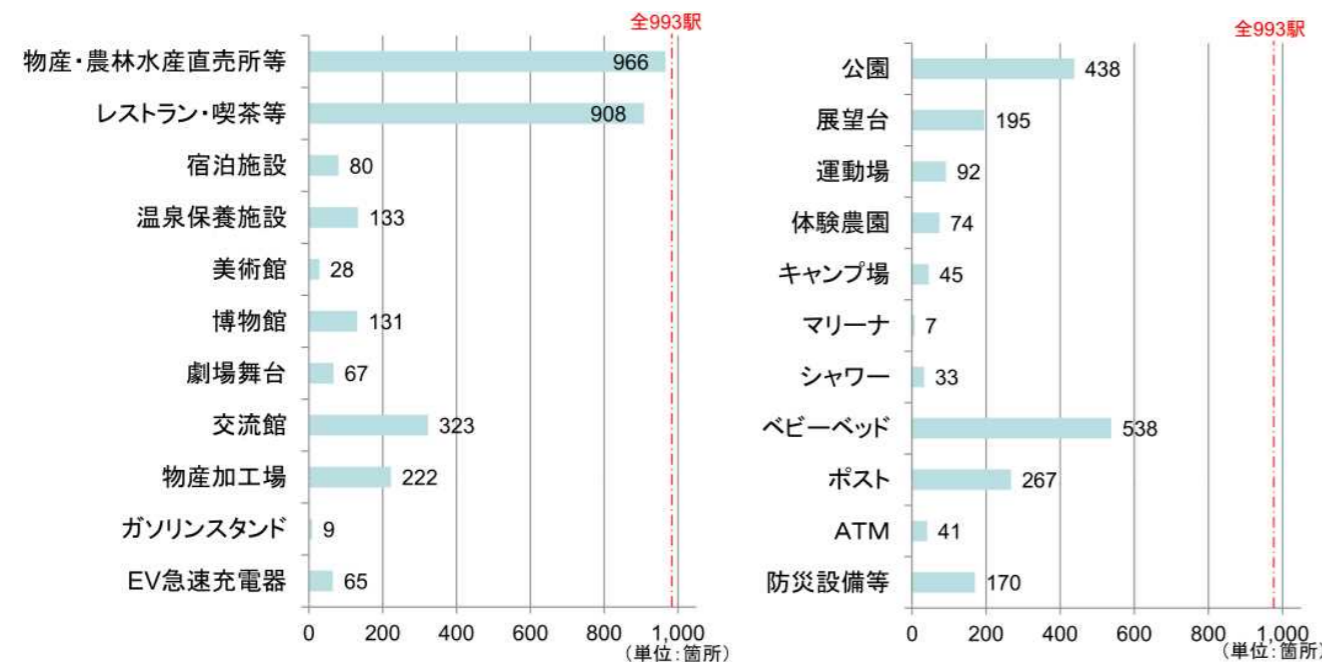
全国モデル「道の駅」【6箇所】(出典:駐車台数以外は国土交通省ホームページ)

No.	道の駅名称	場所	現地写真	駐車台数	概要
①	遠野風の丘	岩手県 遠野市		普通車 158 台 身障者用 3 台 大型車 14 台 (道の駅 HP) 普通車 80 台 身障者用 3 台 大型車 14 台 (東北地整 HP)	<p>【広域防災拠点として高度な防災機能を分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災の拠点 東日本大震災では、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの方々の後方支援拠点として機能 ○産業振興の拠点 沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援 ○観光や地方移住等 総合案内拠点 観光案内所では、沿岸地域の観光復興に向け情報を発信 ふるさと納税制度の紹介、納税者には、「道の駅」の特産品を提供
②	もてぎ	栃木県 茂木町		普通車 329 台 身障者用 4 台 大型車 5 台 EV 車 1 台 (関東地整 HP)	<p>【真岡鉄道の SL やサーキットなど地域の魅力へのアクセスポイントとしてのゲートウェイ機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域のにぎわいの拠点 創意工夫の取り組みで利用客数、販売額は 10 年間で 1.3 倍に増加 ○地域の防災拠点 防災力向上のための防災館を併設。平時からの防災啓発に活用 ○ふるさと納税の推進 道の駅の商品をふるさと納税のお礼として地域 PR に活用
③	川場田園プラザ	群馬県 川場村		普通車 422 台 身障者用 4 台 大型車 8 台 二輪車用 10 台 (関東地整 HP)	<p>【「農業プラス観光」で人口約 3,700 人の村に年間約 120 万人が来訪。リピート率は7割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業プラス観光 園内では朝取り野菜・ブルーベリーや乳製品などの地域資源を活かし、果物狩りや陶芸などの体験やイベント等により、村民と来訪者の交流の機会を提供 ○地域のゲートウェイ 観光協会スタッフがビジターセンターに常駐し、宿泊、体験施設など、地域全体の観光案内

④	とみうら	千葉県 南房総市		普通車 65 台 身障者用 4 台 大型車 15 台 (関東地整 HP)	<p>【観光資源(びわ等)をパッケージ化し、都市部の旅行代理店へ販売】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「道の駅」を核とした6次産業化 「道の駅」が中心となり特産のびわを加工、オリジナル商品(50種類)を開発、販売 ○地域固有の観光資源をパッケージ化し、観光ニーズを呼び込み 観光資源をパッケージ化し、都市部の旅行会社へ販売 (道の駅が旅行業資格を取得) ○地域の伝統・文化の継承、交流のための取り組み 富浦人形劇など、地域の伝統・文化の継承の場としても活用
⑤	萩しーまーと	山口県 萩市		普通車 65 台 身障者用 4 台 大型車 7 台 (中国地整 HP)	<p>【地元業者と共に、魚の加工品の開発。その商品は、「究極のおみやげ」等様々な賞を受賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○萩漁港の水揚げ高の約15%を販売し、地産地消に寄与 魚食普及・食育の拠点として地域活動を実施 ○地元加工業者と連携して生み出したヒット商品は、地域全体の活性化に貢献
⑥	内子フレッシュパーク からり	愛媛県 内子町		普通車 180 台 身障者用 3 台 大型車 3 台 (四国地整 HP)	<p>【地元農家が中心となった商品開発、町内の農産物販売額の15%を占める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○季節の農作物にあわせて加工商品を開発販売 内子町内の農産物販売額の約15%を売り上げる拠点に発展 ○ITを導入して鮮度を追求することで、安全安心な農産物提供システムを構築 出荷する地場農産物にトレーサビリティやPOSシステムを導入 販売情報が連絡され、在庫に合わせて出荷者が直接納品することで鮮度向上を追求

**「道の駅」の地域振興施設の内容**

- 物産・農林水産直売所等やレストラン・喫茶等は、多くの「道の駅」で整備
- 設備面では、ベビーベッド、ポスト、また、防災設備も整備



(平成25年4月1日時点供用の道の駅：993箇所のうち整備箇所数 (一部の設備は計画中、構想中を含む)
 (資料:内閣府 第4回 地域経済に関する有識者懇談会資料)

「道の駅」による地方創生拠点の形成 (平成26年8月国土交通省公表)

元々、ドライバーが立ち寄るトイレ・休憩施設として生まれた「道の駅」は、その数1,000を超える中、それ自体が目的地となり、まちの特産物や観光資源を活かしてひとを呼び、地域にしごとを生み出す核へと独自の進化を遂げ始めています。この進化する「道の駅」の機能強化を図り、地方創生の拠点とする先駆的な取組をモデル箇所として選定し、関係機関が連携の上、計画段階から総合的に支援します。

(ポイント)

- ・地方創生の拠点となる先駆的な「道の駅」の取組をモデル箇所として選定。
- ・関係機関が連携し、計画段階から総合的に支援。
- ・対象は地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」及び地域の元気を創る「地域センター型」

→平成27年1月 重点的な「道の駅」の選定・公表

- ・全国モデル「道の駅」 選定数 全 6箇所 (道内0)
- ・重点「道の駅」 選定数 全 35箇所 (道内3：ニセコ、石狩(厚田)*、当別*)
- ・重点「道の駅」候補 選定数 全 49箇所 (道内6：土幌、弟子屈、七飯*、南富良野、音更、上士幌*)

*は未供用

	地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型	地域の元気を創る地域センター型
インバウンド観光	<ul style="list-style-type: none"> ・他言語に対応した案内など、外国人観光案内所認定の取得 ・地酒やお菓子など、地域の特産物を免税で購入できる免税店の併設 ・外国発行クレジットカードの利用可能 ATM の設置 ・無料公衆無線 LAN 環境の提供 ・電気自動車による周遊観光を可能とする EV 充電設備の設置 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品によるオリジナル商品開発、ブランド化 ・直接的な雇用に加え、地元生産者からの調達による雇用の創出 ・地元農林水産物を活用した6次産業化のための加工施設や、直売所の設置 等
観光総合窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会等と連携した地域全体の観光案内機能 ・宿泊予約やツアー手配のための旅行業の登録 ・単なる物見遊山にとどまらない史実・文化など知的な好奇心を刺激する機会の提供 ・地域資源を活かした体験・交流機会の提供 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所、役場機能など、住民サービスのワンストップ提供 ・高齢者への宅配サービス ・健康、バリアフリーに配慮した高齢者向け住宅の併設 ・地域公共交通ネットワークの乗継拠点 ・SS (サービスステーション) 過疎地における石油製品の供給拠点機能 等
地方移住等促進	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報や就労情報など、地方移住に必要な情報のワンストップ提供 ・若者に地域の魅力を体験する機会の提供 ・運営スタッフの公募等による雇用機会の創出 ・ふるさと納税に関する情報提供 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊、警察、消防等の広域支援部隊が参集する後方支援拠点機能 ・地場産品の取扱や燃料保有、非常電源装置等によるバックアップ機能 ・平時からの防災啓発教育のため、既往災害等の情報発信 等

道内の「重点道の駅」と「重点道の駅候補」

市町村	駅名	概要
当別町	(仮称)当別	札幌近郊で農商工連携による6次産業化 インバウンド観光促進にも対応
ニセコ町	ニセコビュープラザ	国際リゾート・ニセコのインバウンド観光対応拠点
石狩市	(仮称)あつたか・あいロード	厚田漁港の水産物・史跡と連携し、地域のゲートウェイ
土幌町	ピア21しほろ	馬鈴薯・牛を活かした6次産業化の農村ユートピア拠点
弟子屈町	摩周温泉	阿寒・摩周地域の観光拠点となるよう観光コンシェルジュを配置
七飯町	(仮称)男爵いもパーク	観光と宿泊の情報発信、地方移住
南富良野町	南ふらの	観光、雇用、空き屋情報を発信する総合窓口を設置 再生可能エネルギーを活用した先進農業生産拠点化
音更町	おとふけ	地域住民が中心となり食や文化、観光等の地域の魅力を発信
上士幌町	(仮称)バルーン	移住定住のワンストップ窓口を設置



周辺の道の駅概要



道内の道の駅 115(うち各施設のある駅数 ショップ112、レストラン 77、軽食・喫茶 65、観光案内 104、ベビーベッド 85、無線LAN59、公園 50、温泉施設 17、キャンプ施設 13、シャワー3)

周辺道の駅一覧表

No.	道の駅名称	場所	現地写真	駐車台数	入込客数 (過去5年平均/H21~25)	メイン施設	他	概要
①	まるせつぷ	遠軽町丸瀬布		普通車 63 台 身障用 3 台 大型車 10 台	971,570 人 H22 センサス (R333) 4,611 台/12 時間 5,723 台/日	木芸館、レストラン	自動演奏ピアノ、喫茶コーナー、ウッドクラフト製品	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の道の駅の中では最大級の入込客数 (97 万人) 地域特産品 (木工芸加工) の物販が充実 端末 IC となった際のモデルケース
②	しらたき	遠軽町白滝		普通車 25 台 身障用 1 台 大型車 9 台	283,882 人 H22 センサス (旭紋自動車道) 2,862 台/12 時間 3,692 台/日	パーキングエリア物産館、レストラン	売店コーナー、食堂コーナー、休憩スペース、観光案内板	<ul style="list-style-type: none"> 高規格道路から直結のパーキングとしてのモデルケース 当駅周辺に他の施設は張り付いていない
③	オホーツク紋別	紋別市		普通車 120 台 身障用 2 台 大型車 10 台	48,291 人 H22 センサス (紋別湊線) 4,264 台/12 時間 5,373 台/日	オホーツク流氷科学センター「ギザ」	エントランスホール、アストロビジョン、展示室、厳寒体験室、喫茶コーナー流氷里	<ul style="list-style-type: none"> 街を代表する文教、観光等主要施設と隣接しており、共用させた駐車スペースとして活用されている 紋別観光の入り口的な位置取りにある
④	かみゆうべつ温泉チューリップの湯	湧別町上演別		普通車 242 台 身障用 2 台 大型車 8 台	193,202 人 H22 センサス (R242) 6,258 台/12 時間 7,532 台/日	かみゆうべつ温泉 チューリップの湯	レストラン、売店、漫画美術館 (文化センター TOM 内)、鉄道資料館	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の道の駅の中では最大級の収容台数 街を代表する主要な観光施設と隣接しており、共用させた駐車スペースとして活用されている
⑤	愛ランド湧別	湧別町		普通車 203 台 身障用 2 台 大型車 5 台	154,458 人 H22 センサス (R238) 3,515 台/12 時間 4,148 台/日	遊 YOU ぷらざ	物産展「YOU ショップ」、レストラン彩湖、ファミリー愛ランド YOU	<ul style="list-style-type: none"> 遊戯施設 (遊園地) と隣接しており、共用させた駐車スペースとして活用されている
⑥	サロマ湖	佐呂間町		普通車 78 台 身障用 1 台 大型車 3 台	231,508 人 H22 センサス (R238) 1,478 台/12 時間 1,744 台/日	物産館「みのり」	特産品販売コーナー、休憩コーナー、焼き物コーナー、ふれあい牧場、観光農園	<ul style="list-style-type: none"> 季節限定の物もあるが、獲れたての魚介がその場で焼いて食べられる (帆立・牡蠣) 牧場、農園、林間広場と隣接し、共用させた駐車スペースとして活用されている
⑦	香りの里たきのうえ	滝上町		普通車 38 台 身障用 2 台 大型車 6 台	49,013 人 H22 センサス (R273) 2,896 台/12 時間 3,504 台/日	香りの里たきのうえ、レストラン	物産販売所 (1 階)、喫茶 (1 階)、休憩コーナー (2 階)	<ul style="list-style-type: none"> 域内唯一、ドックランがある 付近には滝上溪谷「錦仙峡 (きんせんきょう)」があり、当駅に車を止めて散策する観光が楽しめられている